

台風 19 号リーディング (2019 年 10 月 26 日収録)

担当:石田昭 2019 年 12 月 8 日

- 1 天皇即位式の日、両陛下の守護靈が隆一氏に、台風の理由を尋ねた。伊勢神宮「風の神」
- 2 灵人(スサノオ): 神意に反して、消費税上げを断行した。反省無く悪政を継続するのなら、警告する。首都圏に政治判断機能があるから、お膝元で為政者の慢心を戒める必要。
- 3 天皇来訪は「孫が天照の神隠し」をしたのでは、という詰問に感じた。儀式に天照の臨在がない。皇后が日本の風習を曲げ、皇室の宗教性が無くなっていくのなら、残念に思う。
- 4 神の心を軽視して、洗脳していること、「堪忍袋の緒がきれている」。中国・北朝鮮の無神論・唯物論思想が世界のガン細胞化しているのに、日本が何も手を打てないのは情けない。
- 5 香港問題に沈黙、自国中心の大衆迎合で動いている、恥を知るべきだ。台風以外もある。
- 6 CO2 ごときが地球全体を変えたりしない。この台風も「温暖化のせい」にして、結局「景気の減退が地球を守る」という空気を作るのだろう。我々は台風の「種」をまいている。
- 7 日本への警告を与えたが、反日感情の国でも「能天氣」なら、それ相応のものが起きる。
- 8 本気になれば、島より大きな地域だって海没も、浮上も自由自在。地球物理学は無知・無明。
- 9 日本発の神理が世界に向か発信される時に『戦略的無視』を取り続けることは許しがたい。外国の神からもクレームがある。HS に被害が及ぶから、言葉を選ぶが、「人々が慢心し、無信仰、増長してくる場合には罰を与え改心させる」日本には一定の目覚めが必要。
- 10 靈言を終えて: 日本は脱皮する必要あり。これが外にいかなければ、「内側に来る」。今度は幸福の科学のほうが罰を当たられる？弟子達の行動にもご不満の限界か？上皇たちを無理やり引退させた？皇后の意を汲んで皇室の改革？新しい制度下で、皇后の適応障害が全く消えた。
- 11 **大日曼貴神**: マスコミ主導型民主主義に怒っている。表面的でマルクスを神とするような思想。どうしても打ち破る必要あり。この国の虚飾、傲慢な皮被りを取り去りたい。
- 12 幸福の科学は世界的な使命を持っている、しかし、日本の国自体が足を引っ張っている。
- 13 今の皇后を選ぶとき、信仰心を調べる必要があった。無信仰で伊勢に参っても何の功德もない。2050 年までに CO2 排出を減らそう、と言う皇后では伊勢に来ても意味がない。
- 14 皇室改革より、ご自分の改革が必要、直き心が必要。今、日本の荒療治を考えている。
- 15 今回、世界神は日本を本拠地に選ばれた。日本がその真実を自覚すべき。イエスは弟子。
- 16 来年から 2030 年にかけて「苦しみの時期」と「輝かしい未来への脱皮」の両方がある。
- 17 八百万の神々にもリストラの波。時代の波についていけないで、役に立たない神がいる。地上からの尊敬や信仰が薄れている。「古ければ正しい」というだけでは済まされない。日本神道の高位にあった魂でも、世界宗教における立ち位置が分からぬのでは？伯父叔母は孫への反面教師か？韓信の股潜りができる。身内なら少なくとも弟子以上の信仰心が必要、同族経営は無理か。
- 18 令和の時代もかなり厳しい船出である。皇室の存続もかかった大きな問題が起きてくる。
- 19 靈言を終えて: 日本の神々のお仕置きということ、厳しいですね。消費税上げ後の台風で一兆円の被害。税収が吹っ飛んだ。民意と乖離しているという証拠である。「政策」や「外交」も仏法神理的なもので一本筋を通す必要がある、場当たり的外交ではだめ、皇室も厳しい状況、当会の立ち位置は厳しいものがあるが、「自分たちで影響力を増していくように成長する必要がある。プラスのエネルギーに導かれて前進したい。政治上の選択は信仰心のあるイランの指導者にも難しく、日本しかないと頼っている。世界から尊敬される人物の輩出が急がれる。
- 20 **あとがき**: 今は、科学の名の下に、根拠の不確かな議論に負けてしまう。900 回以上の靈言を取ったのは科学的実証的態度である。何もせず、靈を信じない人こそ迷信的である。